



臨床心理学	単位数	履修方法	配当年次
	4	R or SR	2年以上
科目コード	FF3503	担当教員	清水めぐみ

※会場によりスクーリングを別教員（横山知行先生・小山智子先生）が担当いたします。

■科目の内容

臨床心理学（clinical psychology）の「臨床」は、ギリシャ語の「寝台」（クリネー）から生じた語といわれています。僧侶らが、死を目前にして苦しむ者に手をさしのべ、魂の世話をしたことに臨床の起源があるのです。現代では、魂の世話（卑近なことばでいえば心のケア）が必要なのは、死を目前にしている人たちだけではありません。だれもが、苦しみを抱え、ときに抱えきれずに立ちつくすことがあるものです。そのようなときにその人が自分らしい道を歩き出すために心理学的な援助を提供するという実践的な目的を持っているのが臨床心理学です。

心理学的な援助を提供するためには、まず相手について理解しようとするのが不可欠です。そして人をわかろうとするということは、自分の心を通じて行われるので、まず、自分をわかろうとすることが大前提になります。

また、援助は、援助を提供する側からの一方通行では成り立ちません。援助を提供する側と援助を受ける側がお互いに参加する関係があって援助は成り立ちます。臨床心理学では、相互性や関係性についても学んでいきます。

■到達目標

- 1) 臨床心理学の目的と方法論について、説明することができる。
- 2) 自分の心の動きについて、臨床心理学の理論を用いて記述することができる。
- 3) 心理アセスメントの概要を把握し、心理臨床活動における位置づけを説明できる。
- 4) 臨床心理学的援助における職業倫理について説明できる。

■教科書

杉江 征・青木佐奈枝編 『スタンダード 臨床心理学』サイエンス社、2015年
(最近の教科書変更時期) 2017年4月

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	臨床心理学とは (第1章 1・1、 1・2)	臨床心理学とは何であるのか。成り立ちと展開から概観し、理解する。	臨床心理学とはどのような学問であるのかを理解する。
2	臨床心理学の研究法 (第1章 1・3、 1・4)	臨床心理学の研究法・方法論と臨床心理学に包含される心理学について知り、理解する。	臨床心理学の基盤にある方法論を理解する。
3	臨床心理アセスメント (第2章)	臨床心理アセスメントの方法と視点を概観し、理解する。	臨床心理アセスメントとはどのような営為であるのかを理解する。
4	心理検査法 (第3章)	臨床心理アセスメントのうち特に心理検査法について概観し、その使用に際しての留意点も含めて理解する。	心理検査法の成り立ち、種類、使用に際しての注意点を把握する。
5	精神分析・力動論 (フロイト) (第4章)	力動的な観点から心を理解するための概念について概観し、理解する。	フロイトに先んじる思想、フロイトの理論、フロイト後の展開を把握する。
6	行動論・認知論 (第5章)	いわゆる心理学的な理論から展開した、行動の変容のための理論と方法を概観し、理解する。	学習理論から認知療法への展開を理解し、さまざまな方法の背景にある理論を把握する。
7	人間性心理療法・ 来談者中心療法 (第6章)	来談者中心療法の成り立ちとその人間観と理論を概観し、その後の展開も含めて理解する。	来談者中心療法について知り、その方法を学ぶ。
8	催眠とそこから生まれた療法 (第7章)	心理療法の源流としての催眠について概観し、催眠から発展した方法を知り、理解する。	催眠の歴史と展開について、歴史的な視点から学ぶ。
9	多様な心理療法 (第8章)	第5回から第8回までで触れられなかった心理療法のいくつかについて学び、理解する。	対人関係をキーワードとして、多様な心理療法について知る。
10	教育・子育て領域における心理支援 (第9章)	教育・子育ての領域における心理支援について、その領域の特徴を踏まえた方法を知り、理解する。	心理支援における周辺環境との関わりの方角を持ち、支援の特徴を知る。
11	医療領域における心理支援 (第10章)	医療領域における心理支援の実際について知り、その活動内容を概観し理解する。	チームにおける専門家としての位置づけと技能、チームワークについて知る。
12	産業・司法領域における心理支援 (第11章)	産業領域、司法領域それぞれの心理支援の実際について知り、この領域における臨床心理学の役割について理解する。	他職種との連携における心理支援の課題について考え、心理支援活動の倫理について理解する。
13	臨床心理領域の知識と活用 (第12章)	臨床心理学に関連する学際領域のいくつかを知る。特に、倫理について考え、理解する。	臨床心理学に関わる法律のいくつかの事項を知り、特に倫理面について把握する。
14	まとめ① 臨床心理学とライフサイクル	臨床心理アセスメントと心理療法のつながりを知り、理解する。	臨床心理アセスメントと心理療法の基盤をなす人間理解の理論とのつながりを理解する。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
15	まとめ② 心理臨床の実践領域	各実践領域に共通する課題と問題点を挙げ、心理臨床における留意点を理解する。	実際の心理支援における姿勢を理解する。

■レポート課題

1 単位め	「臨床心理学」とは何であるかについて、「臨床」の意味について説明し、臨床心理学に寄与した2つの大きな流れを踏まえて歴史を概観して、述べよ。加えて、臨床心理学の研究法のうち事例研究とは何であるのかを説明せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web解答可
2 単位め	フロイトによる第一局所論について「無意識」「意識」の二語を含めて、第二局所論（構造論）について「自我」「超自我」「エス」の三語を含めて説明し、それぞれの身近な例について、自分の体験を踏まえて記述せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web解答可
3 単位め	医療領域におけるアセスメントについて、「アセスメント」の意味を述べたうえで、アセスメントの3つの主な方法を挙げ、それぞれについて説明せよ。また、心理検査が使われる状況をひとつ想定し、その際に使用する心理検査をその特徴を踏まえて選択し、それを選択した理由を述べよ。
4 単位め	臨床心理学に関連する職業倫理のうち「秘密を守る」ことの意義と「秘密を守る」ことの限界および留意点について述べよ。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

(2016年度以前履修登録者) 2017年4月よりレポート課題が一部変更になりました。『レポート課題集 2016』記載の課題でも2018年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス

まず、テキストを通読してください。その上で、テキスト以外に臨床心理学を概観している文献や課題に関連する文献の複数にあたりながら、課題に取り組むようにしましょう。テキストだけでは、いずれの課題にも取り組むことができません。

また、レポート作成にあたっては、形式が重視されます。日本語の文章を書く上で必要な、原稿用紙の使い方や段落の作成などが不適切である場合には、内容が適切であっても評価されません。特に、文献やウェブサイトからの引用については、出典を明示して剽窃・盗用を避けてください。『学習の手引き』などで示されている引用の方法、文献の挙げ方の形式が整っていない場合には、内容は優れていても再提出となります。十分に注意を払ってレポートを作成してください。

1 単位め アドバイス

臨床心理学の歴史を踏まえて、学問の全体像をつかみましょう。「臨床」とはどのような意味を持ち、臨床心理学はどのような特色を持っているのかをまとめましょう。その際には、2つの大きな流れを踏まえてまとめることで整理しやすくなるでしょう。また、事例研究とは何であるのか、その特徴を理解して記述しましょう。

2単位め アドバイス

精神分析・力動論を概観し、こころのなかの場所ともいえる「無意識」と「意識」という考え方と、こころのなかのある役割を担う部分としての「自我」「超自我」「エス」について、把握し、日常の身近なできごとからこれらの動きを仮定できる例を挙げ、説明しましょう。

3単位め アドバイス

医療領域における心理支援の実際のうち、特にアセスメントを中心にその意義と流れを把握しましょう。また、臨床心理アセスメントの流れを理解し、各心理検査の特徴を踏まえて、目的に合う心理検査の選択をします。

4単位め アドバイス

職業倫理の7原則を踏まえ、その中の「秘密を守る」ことについて、当然のことであり意義深いことである反面、危険が伴うことを理解し、「秘密を守る」ことの限界とよりよい実践のために留意しておく点をまとめましょう。

※この科目は「TFUオンデマンド」上で、担当教員によるレポート・アドバイスの動画を視聴することができます。

■科目修了試験 評価基準

試験100%で評価します。具体的には、試験で解答を求められている点について、教科書で学んだ内容のうち該当する事項を中心に、教科書に記載されている学術用語を適宜用いて論述できているかという観点から評価します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「自己理解に基づくセルフコントロール力」を身につけてほしい。

■参考文献

- 伊藤良子編著『臨床心理学——全体的存在として人間を理解する』ミネルヴァ書房、2009年
鈴木 晶『図解雑学 フロイトの精神分析』ナツメ社、2009年
山中康裕編著『心理学対決！フロイトvsユング』ナツメ社、2010年
沼 初枝『臨床心理アセスメントの基礎』ナカニシヤ出版、2010年
森谷寛之『臨床心理学 心の理解と援助のために』サイエンス社、2005年

■スクーリング受講にあたっての留意事項

「臨床心理学」のスクーリングは、受講申込締切日までに、「福祉心理学」「心理学概論」などの基礎的な科目のスクーリングを受講（またはレポートを提出）してからの受講をお奨めいたします。そのため、4月新生が入学後すぐの5月のスクーリングを受講することをご遠慮ください。